

## 書面協議による審議会の開催結果

1. 審議会名

令和2年度第1回石狩市子ども・子育て会議

2. 書面開催とする理由

新型コロナウイルス感染症対策のため

3. 協議期間

令和2年11月17日から令和3年1月5日まで

4. 会議参加者

吾田会長、坪田副会長、河岸委員、近藤委員、星野委員、和田委員、伊藤委員、  
新田委員、金子委員、穴田委員、山中委員

5. 議事項目

- (1) 石狩市児童館条例の一部改正について（諮問）
- (2) つくしクラブの廃止について（諮問）
- (3) 第1期子ども・子育て支援事業計画の平成31年度実績報告

6. 審議会委員からの意見・質問及び回答

別紙のとおり

7. 承認状況（結果）

答申書のとおり、諮問事項について承認された（付帯意見あり）

令和3年1月5日 開催結果確定

石狩市子ども・子育て会議

副会長 坪田 清美

---

## (1) 石狩市児童館条例の一部改正について(諮問)

NO.	委員名	委員からの意見・質問	事務局の考え・報告
1	新田	修正はありませんが、開始・終了時間の変更について困るという声があれば、そうしたニーズへの配慮についても検討すべきだと思います。	パブリックコメントを実施し、そのような意見はありませんでしたが、今後利用していくなかでそのような声が多く聞かれるようなことがあれば検討していきます。
2	山中	開設時間ですが、平日は良いと思いますが、学校が休みの日は学校に代わる居場所となるため、朝は学校と同じ時間に閉館するほうが良いです。クラブ優先となり、一般の利用者が我慢が強いられることがないことを望みます。	放課後児童クラブでは、学校が休みの日など、仕事がある家庭の出かける時間を考慮し、早い時間から開設していますが、児童館の一般利用については、朝の時間などゆっくりとした親子の時間を過ごすことも大切であると考えられることから他の公共施設などと同様に家族で行動しだす時間に設定したいと思います。
3	山中	休館日ですが、大型の「こども未来館」と「(仮)ふれあいの杜子ども館」の休みが違うのは、どちらかには行けるので良いと思います。ただ、大人にも子どもにも、家で過ごす時間の大切さも考えてほしいため、大型のこども館も、祝日は休館で良いと思います。	ご意見のとおり、親子で家で過ごす時間も大切ですから、日頃は児童館を利用してもらいつつ、保護者が休みの日には自宅で一緒に過ごしてもらいたいと考えております。一方で保護者の働き方も多様化しており、祝日などの休日でも出勤しなければならない家庭もあることから、子どもたちの居場所となるところが一か所は開設したほうが良いと考えております。
4	山中	「(仮)ふれあいの杜子ども館」の名称は単純に解りやすく良いと思います。ですが、子ども館の「子」はひらがなが望ましいです。意見の内容も良いと思うので、名称ではなく施設の目標・意義として取り上げ、概要に記載されると良いと思います。名称の略称は、わが家では、公園は「ふれ杜」、児童館は「ふれ杜館」が定着しつつあります。	ひらがなの方がやわらかい印象を受けるのですが、「子」をひらがなにすることで低学年の居場所というイメージが強くなってしまふことが考えられます。新たな児童館は中高生の居場所としての機能も考えていることから、「子」はひらがなではなく漢字とすることで、低学年だけではなく広く中高生の居場所でもあることをアピールできると考えております。なお、パブリックコメントでいただいたご意見については、施設のコンセプトとして入っています。
5	穴田	多くの方が覚え易いように、できるだけ簡潔な名称が良いと思います。コンセプトに思いがきちんとはいつているので、大丈夫だと思います。	市民のみなさんが覚えやすいよう簡潔な名称とし、愛され、親しまれる児童館を目指してまいります。
6	山中	おおぞら児童館の廃止年月日ですが、開設記念日＝閉館日となり、心から記念日を祝えない気持ちになるため、「(仮)ふれあいの杜子ども館」の開設後、移行期間をもって廃止にして欲しいです。	経費の負担も大きくなることから、2つの施設を同時に運営することは難しいと考えております。開館・閉館のセレモニーを行う場合は、重複しないよう配慮いたします。
7	坪田	複数の事業者が入ることにより、意見交換、切磋琢磨などの刺激が得られ良い運営に繋がることがあることや、多機能な施設運営が求められ、人材不足も予想されるため、指定業者(委託先)を公募する際、全体管理と拠点事業や学童クラブなど分けて募集する方法もあろうかと思えます。	ご意見のとおり事業に分けて募集することで、複数の事業者が関わることになり、お互いの良い面を学んだり、意見交換をするなど良いこともあると考えられますが、一方で同じ事業者の場合、しっかりと連携がとれるなど、複数の事業運営がスムーズになるといったことも考えられることから、どちらも良い面はあると思います。委員の意見も参考とさせていただきます。

## (2) つくしクラブの廃止について(諮問)

NO.	委員名	委員からの意見・質問	事務局の考え・報告
1	星野	登録・利用人数を見ると、ファイトキッズクラブの利用への移行はやむを得ないと思いますが、毎日の生活の中で送迎に困難な場合、援助を検討してもらえたらと思います	
2	金子	つくしクラブの現状から考えて、市の原案で進めるしかないと考えます。ただし、保護者の意見で迎えの問題が出ていますが、実情把握をする中で対応の検討をお願いしたい。	全ての放課後児童クラブは保護者の迎えが原則となっており、現在ファイトキッズクラブを利用している方も保護者が送迎をしています。
3	河岸	利用者にとって不便になるのはどうか。夏場はともかく冬場は迎えに行くのに大変なのではと案じます。スクールバスのようなものでつくしクラブの所まで送るなど、何か良い方法はないか。	このことから、つくしクラブを廃止した後についても同様に、保護者の迎えを原則とする考えですが、利用を希望する家庭の意見を聴いたうえで、丁寧に対応してまいります。
4	穴田	利用していたつくしクラブがなくなることに對して、困る家庭も出てくると思う。続けることが大変な理由も理解してくれていると思うため、石狩八幡小学校内のクラブの送迎の負担を石狩市で受け持つ等の配慮が必要だと思う。利用者が少ない点で何十二人も乗れる大型バスではなくてもいいと思う。経費がどの程度かかるのか試算してみるのも、目に見えていいのかと思う。	
5	山中	放課後児童クラブの良いところは、保護者が安心して預けられ、子どもが学年にとらわれずに多数で活動できることかと思えます。つくしクラブの廃止は納得できますが、合併後に移らざるを得ない家庭に、安心して利用できるように対話・対策を疎かにしないでもらいたいです。距離が離れてしまって子どもが一人で行き帰りが難しいのであれば、クラブで送迎車を出すなどの具体案を出してほしいです。	今後もクラブの指導員を通してなど様々な手段で、保護者や子どもたちの意見や感想に耳を傾け、安心して利用できるクラブの運営に努めてまいります。
6	新田	修正はありませんが、つくしクラブの廃止後の状況についても見守りを継続し、家から遠くなる方への配慮を含め、よりよい放課後児童クラブのあり方を引き続き検討していくことが大切だと思います。	つくしクラブのみならず、他のクラブも含めて、利用の状況などを踏まえ、放課後児童クラブの適正な運営に努めてまいります。

## (3) 第1期子ども・子育て支援事業計画の平成31年度実績報告

NO.	委員名	委員からの意見・質問	事務局の考え・報告
1	新田	<p>-1「妊産婦・乳幼児に関する切れ目ない保健対策の充実」</p> <p>乳幼児健診（1歳半、3歳）の受診率の低下が気になりました。受診できていない理由（家庭支援、親支援の必要があるのか等）について知りたいと思いました。</p>	<p>平成31年度は、新型コロナの影響で3月の健診が中止となったため、例年に比べて受診率が低下しています。3月に受診予定だった方は、7月までに全員が受診済みです。</p> <p>未受診の理由としては、入院中や日程の都合がつかないなど様々ですが、他の機会をとらえ、健康状況の確認に努めています。</p>
2	山中	<p>-1「妊産婦・乳幼児に関する切れ目ない保健対策の充実」</p> <p>就学前健診の眼科検査で引っかかり、眼科で弱視との診断を受ける場合があると聞きました。3歳児健診で発見することは難しいのでしょうか。</p>	<p>3歳児健診における視力検査は事前にご家庭で実施していただいているものですが、正確に検査をするのは難しく、特に片眼性の弱視は、片方が見えているため発見が難しいと言われていきます。繰り返し検査することで慣れてきますので、時間をおいて試してみたり、不安がある場合は、ご相談いただきたいと思います。</p>
3	山中	<p>-2「楽しく子育てできる環境づくり」</p> <p>開催場所や開催頻度がよくわからないため、市の子育てサロンを充実・周知してほしいです。市の職員や保健師が来て相談にのってくれるのでしょうか。</p> <p>また、市から助成金をもらって親子で行う子育てサークルはあるのでしょうか。</p>	<p>市が委託している地域子育て支援拠点5カ所のほか、各認定こども園の開放情報などを取りまとめた「子育てネットマガジン」を毎月発行しています（参考に12月号を添付します）。市内34カ所の掲示板「あいぼーど」や市ホームページ、子育て支援アプリでも配信しています。地域子育て支援拠点では、保健師や栄養士等による講座を開催するなどもしていますので、子育てネットマガジンのさらなる周知に努めます。</p> <p>子育てサークルについて、市からの助成金支給は行っていませんが、各団体が工夫をしながら活動されているようです。</p>
4	金子	<p>-3「仕事と子育ての両立支援」</p> <p>ファミリーサポートセンターの実績で利用内容の内訳を知りたいです。</p> <p>また、利用ニーズが1カ所だけで充足できているのか。充足できていなければ、今後の計画の中での検討も必要と考えます。</p>	<p>平成31年度の利用実績では、「買い物・求職活動等、外出の際の預かり」が101件、「保育施設の保育開始前や保育終了後の預かり」が75件、「出産前後の際の預かりやお世話・家事支援」が59件でした。</p> <p>事務局は1カ所ですが、依頼会員（援助をしてほしい人）の自宅に訪問することや、サポート会員（援助ができる人）の自宅で預かることもできるので、現状として、事務局は1カ所で充足できていると考えています。様々なニーズに対応できるよう、サポート会員（援助できる人）の拡大に努めていきたいと考えています。</p>

5	山中	-2「障がいや発達に配慮が必要な子どもの支援」 対応先が就学前はりんくるで、入学後は市役所と分かれているのは解りづらいです。	りんくる内の「子ども発達支援センター」では、発達に心配や障がいのある就学前のお子さんを対象に、集団や個別の中で遊びを通して成長を助けています。入学後は、学校との連携が重要となることから、教育委員会の「教育支援センター」が支援しています。 主な窓口は上記のとおりですが、子ども発達支援センターの職員が学校を訪問するなど、必要に応じて、専門職員や関係機関が連携してお子さんの成長を支援しています。
6	山中	-2「子どもの居場所づくり」 「プレーリーダーによる体験活動」「子どもリーダー」とは何でしょうか。 「青色防犯パトロール」についても知りたいです。地域住民がした挨拶や声かけが不審者扱いになることがあるようで、何か困っていても手を差し出せないと聞きました。	「プレーリーダー」は、公園や空き地などで、主体的に子どもと一緒に遊んだり、子どもの遊び活動を企画、実施するなど、子どもと遊びをつなぐ役割を担う人のことを言います。彩林公園（花川南8-3）において、藤女子大生などによる学生サークルがこの活動を行っています。 「子どもリーダー」は地域活動やまちづくりに参画する子どもたちのことで、石狩市子ども会育成連絡協議会と共催で養成講座を開催しています。ワークショップや体験活動を通してリーダーとしての意識や技能を育てています。
7	新田	-2「子どもの居場所づくり」 プレーリーダーによる体験活動に参加した子どもの人数の低下に関し、コロナ禍でますます難しい状況があるかと思いますが、このような状況だからこそ居場所づくりや体験の機会のあり方や充実について考えていく必要があると感じています。	いずれの活動も、コロナ禍において、手法や今後の事業の在り方を検討する必要が生じています。 「青色防犯パトロール」は、青色回転灯を装備した自動車を用いて行われる防犯パトロールのことです。青色回転灯を装着して運転するには、北海道警察に登録のある防犯協会に加盟したうえで、所定の講習を受けて認定される必要があります。H31年度も開催予定でしたが、新型コロナの影響で中止になりましたので実績は0になっています。

## (4) その他

NO.	委員名	委員からの意見	事務局の考え・報告
1	山中	新型コロナの影響で様々な活動が規制され、鬱や心身症を発症する大人や子どもが多いようです。胆振東部地震でブラックアウトになったときも行動が規制されて、多くの人が戸惑いました。規制された混乱の中で一般の人が動けることはほとんどありません。市や学校や町内会の繋がりが結ばれていれば出来ることもあるのではないかと思います。寄り集まれば、より大きな力となります。	本年は、市においても、講座やイベントなどの各種行事を中止としました。 感染拡大防止に努めつつ、どのような形で実施するのが望ましいか検討しています。どのような形であれ、これまで培われてきた地域の子育て力を大切にしていきたいと考えています。
2	穴田	ふれあいの杜子ども館ができれば、中高生の居場所になると聞いています。中高生全員が仲良くふれあうのは難しいとは思いますが、他校の方々と仲良く利用できる工夫やつながるきっかけ、交流できる企画等があればいいなと思います。	様々な工夫・取組を実施し、中高生が多く利用する児童館としては、こども未来館（花川北7-1）があります。 （仮称）ふれあいの杜子ども館についても、乳幼児から中高生まで、全ての子ども達にとって居心地のいい空間になることを願って、開設準備を進めてまいります。